



今井 政範  
(自民クラブ)

**幼児教育と小学校  
教育の連携のため  
の協議会設置を**

**問** 幼児教育は、義務教育やその後の教育の基礎となるものとして、教育目標や指導方法などを小学校教育と一体として検討する必要が。また、円滑な接続を支援するため、幼児と児童の交流促進や教員の人事交流などの整備が求められている。幼小連携の実現のためには、交流が欠かせないものであり、交流の中から課題が見つかり、子どもにあった教育が展開できると思う。これまでも各学校単位で連携が図られてきたが、膝を突き合わせて課題を話し合える場として、市主導で幼小連携推進協議会を設置してはどうか。

**答** 各小学校では、幼児教育との連携を意識し、1年生の授業において幼児教育と小学校教育を円滑に接続できるように工夫したカリキュラムに基づいた教育活動を展開している。また、児童と幼児や教職員同士の交流のほか情報交換を行う、幼保小の連携が、すべての市立小学校で行われている。

市内の幼稚園・保育所などと小学校が、意見交換を行うことは、幼児教育と小学校教育の接続や、それぞれの教育を推進していく上で、意義のあることと考えており、幼小連携推進協議会の設置を検討していく。

**その他の質問項目**

- ①教育行政学校図書館のさらなる利活用、フリースクールなどの連携、中学校の体育館使用、宇都宮美術館所蔵作品の利活用
- ②未利用財産の利活用
- ③観光地大谷の案内標識等の整備
- ④災害用備蓄品の食物アレルギー対応



内藤 良弘  
(自民党)

**北西部地域での  
総合体育施設整備  
進捗状況は**

**問** 28年3月の一般質問で、北西部地域の体育施設整備について聞いた。その際、スポーツ施設の適正な配置については検討が必要であり、28年度中に、学識経験者や公募委員で構成する宇都宮市スポーツ推進審議会における審議や市民の皆様の見解をいただきながらスポーツ施設整備計画の改訂の中で検討するとの答弁を得た。

既に5カ月が経過したが、現在の進捗状況を聞く。

**答** 現在、人口構成やニーズの変化に対応し、計画的かつ効果的・効率的な施設整備を実現してい

くため、全施設の劣化診断や定量的な施設評価、施設種別ごとのエリア性の検証などを行い、市スポーツ施設整備計画の改訂作業を進めている。

北西部地域への体育施設の機能整備については、体育施設全体の利用状況や、周辺施設の現状も踏まえ、新設の必要性や施設機能の骨格、望ましい立地エリアの考え方も含め検討を行っている。

今後、計画案として整理し、市スポーツ推進審議会や地域の皆様の見解をいただき、年度内の計画策定に向け取り組んでいく。



**その他の質問項目**

- ①市長の政治姿勢
- ②障がい者施設における安全対策
- ③骨髄移植ドナー助成金
- ④大谷地区の観光
- ⑤宇都宮産米の消費拡大
- ⑥立地適正化計画等における本市の誘導支援策
- ⑦市街地における生活交通の確保
- ⑧し尿・浄化槽汚泥等の水再生センターにおける処理



高橋 美幸  
(公明党)

**高齢者等地域活動  
支援ポイント事業  
の充実を**

**問** 本市の高齢者等地域活動支援ポイント事業は、対象年齢を60歳以上に引き下げ、対象者を拡大するとともに、ポイントの交換を、ボランティアセンターに登録した団体への寄附に充てられるなど、他都市にはない素晴らしい事業である。

そこで、これまでの進捗状況と参加者の意見を聞く。

また、介護予防の面からも、参加者の拡大や事業の充実への取り組みが必要と考えるが、どう考えるか。

**答** 26年10月の事業開始以降、広報紙・ホームページなどでの周知や、活

動を希望する方にグループを紹介するなどのマッチングに取り組み、27年度は、409グループ、約8800人の登録となり、順調に増加している。

参加者からは「活動の励みになる」「楽しみながら健康づくりに取り組み」など好評を得ている。

今後、一層の高齢化が見込まれるなか、より多くの方に事業へ参加してもらえよう、登録グループからの活動報告の提出に併せ、アンケート調査を実施し、ポイント交換先のニーズなどの的確な把握に努めるなど、さらなる事業の充実に向けて取り組んでいく。



**その他の質問項目**

- ①今後のLRTの具体的な取り組み
- ②在宅でのみとり支援
- ③男女共同参画推進センターの愛称
- ④スマートフォン等を用いた緊急通報サービスへの対応
- ⑤歴史文化の中核施設整備
- ⑥西川田駅のバリアフリー化